

様式3 【物・文化財・風景など実態のあるもの】

ふくしまの森林文化調査カード

No.5

県 HP公開の可否 (  可 ・ 否 )

区分	1. 森づくり 4. 森と暮らし	2. 森の恵み 5. 森の文化財	3. 森と技 6. 森の風景
分野(ふりがな)	(分野) 森からの恵み(狩猟)	(ふりがな) じゅうめんつきどき	
地域独特の呼び方	—	—	
タイトル	獣面付き土器		
伝承地域	—		
由来(年代)	縄文時代の人々が狩猟を行い食料を調達していたことを示す出土品		
内容	縄文・弥生時代を通じて、狩猟の対象の中心はシカやイノシシであった。遺跡から出土するものには、捕獲して食料とした動物の骨の他、その骨を利用した道具や動物儀礼に関与したと推定される動植物の土製品や獣面付き土器のように、土器の一部に動物の意匠を表現したものもある。		
大きさ・材質	(大きさ) —	(材質) —	
見頃	—		
交通アクセス	JR新幹線: 新白河駅から約4キロ、タクシー10分、バス15分 東北自動車道: 白河インターチェンジ下車約20~30分		
文化財等の指定状況			
問い合わせ先	福島県文化財センター白河館・まほろん (Tel: 0248-21-0700)		

【フリーフォーマット】

キーワード



獸面付き土器(縄文前期)